

(c)E - ディフェンスによる既存不適格建物補強・無補強実験

1) 業務の実施方法

a) 移築試験体の公募

防災科研兵庫耐震工学研究センターから、文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会、兵庫県政記者クラブ、三木市政記者クラブ等に対して、実験に供する試験体の公募に関する要領を記者発表した。記者クラブ等へ発表した内容は以下の通りである。

平成 17 年 2 月 8 日

プレスリリース

兵庫県近傍にて木造住宅物件を求む！

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：片山恒雄）は、東京大学、独立行政法人建築研究所、独立行政法人森林総合研究所と共同して、平成 17 年秋に兵庫県三木市にある実大三次元震動破壊実験施設（E - ディフェンス）を用いた木造住宅の加震実験を予定しております。文部科学省の「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」として防災科学技術研究所が取り組んでいる研究の一環です。

実験では、実在する木造住宅を上述の震動台上に移築して、実際の大地震時にどのような挙動を示すか、どのように崩壊するか否かなどを検討しようとしています。また、一方で同様の木造住宅に対して耐震補強を実施した場合の大地震時の挙動と比較することを計画しております。

より現実に近い実験をするためにある程度築年数を経た木造家屋で、解体除却する予定のある物件がありましたら、本プロジェクトに提供して頂きたく以下のとおり公募を実施する次第になりました。

【募集する物件】

1. 受付期間・・・平成 17 年 4 月 30 日（適合物件見付かり次第終了）
2. 対象物件の場所・・・兵庫県内または近傍
3. 築年数・・・25～50 年程度（昭和 30 年～55 年建築）
4. 階数・・・2 階建て
5. 構法・・・木造軸組構法（ツーバイフォー、プレハブ住宅は除きます。）
6. 棟数・・・最大 2 棟
7. 移築工事時期・・・平成 17 年 4～8 月（物件の都合に合わせて。）
8. 移築工事費用・・・全額こちらで負担致します。
9. 移築工事工期・・・ほぼ 1 ヶ月程度かかります。

【応募方法】以下の情報を揃えて、下記送付先まで郵送にてお送り下さい。

1. 応募者の住所、氏名、電話番号等連絡先、Eメールアドレス（お持ちの方）等
2. ご提供頂ける物件の所在地、所有者の氏名
3. 築年数（お分かりになる場合）
4. 物件の東西南北の写真、若しくは設計図面の複写（原本の場合、返却します。）

【選考方法】

1. 応募書類確認後、現地調査をし、本件に適合するかを判断させて頂きます。

< 送付先・問い合わせ先 >

独立行政法人防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 西山誕生
電話 0794-85-8942 FAX 0794-85-7741 E-mail: tanjo@bosai.go.jp
〒673-0515 兵庫県三木市志染町三津田西亀屋 1501-21

< 内容に関するお問い合わせ >

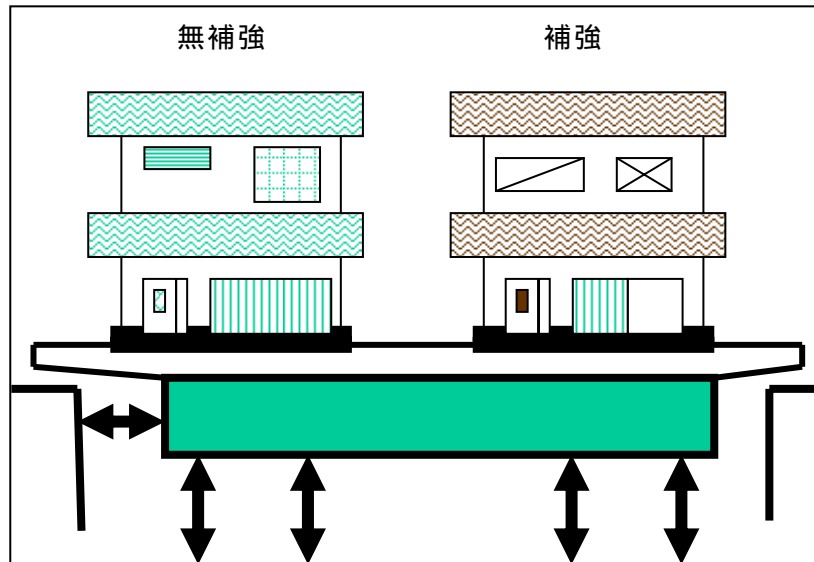
独立行政法人防災科学技術研究所 流動研究員 箕輪 親宏
電話 029-863-7601

< 連絡先 >

独立行政法人防災科学技術研究所 企画部企画課広報担当 菊地雄司・山科 忍
電話 029-863-7789

「補足説明」

- ・ 公募後に実験に関する補足説明
類似した構造の建物2棟をE-ディフェンスに分解移築します。
一方の建物を耐震補強して実験します。
耐震診断、耐震補強の効果に関するデータを取得すると共に、耐震意識の普及の一助とします。



実験イメージ図

[大都市大震災軽減化特別プロジェクト]

文部科学省は2002年度から「ライフサイエンス」、「情報通信」、「環境」、「ナノテクノロジー・材料」、「防災」の5分野を対象に、課題と実施機関を定めた研究開発プロジェクト『新世紀創生プラン～リサーチ・レボリューション・2002』（RR2002）を実施しています。大都市大震災軽減化特別プロジェクトは防災分野の研究課題で、防災科学技術研究所を中心に東京大学地震研究所、京都大学防災研究所、国際レスキューシステム研究機構（NPO法人）が中核研究機関に指定されています。

同プロジェクトでは、強い揺れによる大きな被害が予想される大都市圏の地殻構造調査研究、耐震性の飛躍的向上を目指した震動台を活用した研究、被災者救助など災害対応戦略の最適化、それらの成果の地震防災への反映の4テーマに取り組んでおり、今回の実験は「耐震性の飛躍的向上を目指した震動台を活用した研究」における実験の一環です。